

## デザイン仕様書

### ■内容

#### 年輪材の価値を感じることができるテーブルの開発

### ■基本コンセプト

#### 「年輪材を使用したテーブル」

今まであまり活用されなかった大型の地際材（※①）に着目し、地際材を輪切りにした年輪材を使用した家具の開発です。

輪切りにした年輪材を使用した家具は小型のものが一般的ですが、弊社が保有する地際材を使用することで今までにない大型の家具を作ることができます。

大型の年輪材は木の樹齢や大自然をより近くに感じることができ、小型の年輪材とは違う製品ができると考えます。

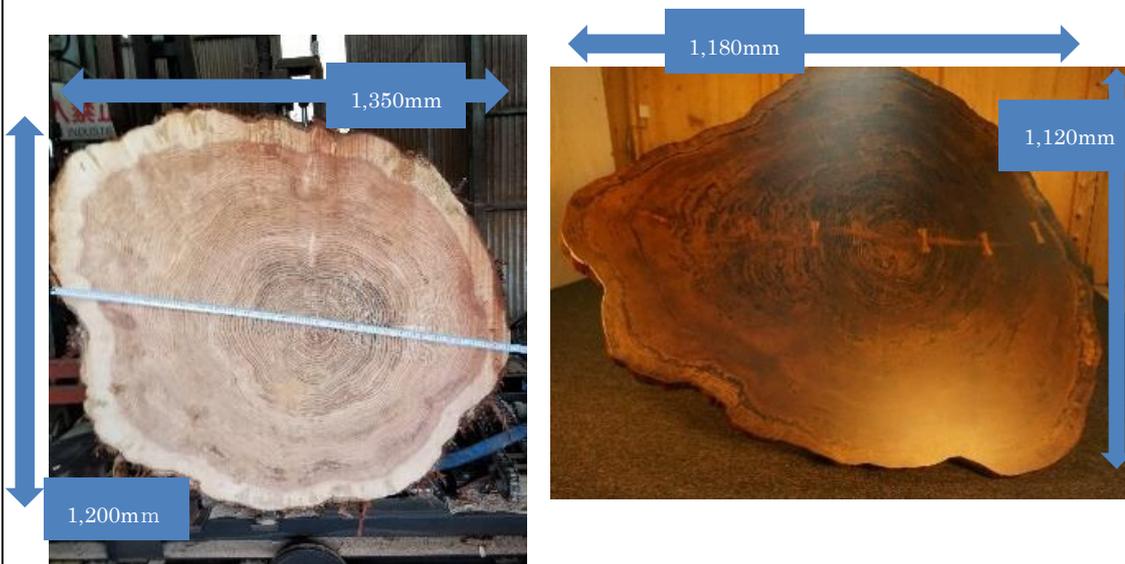
木目や年輪をデザインのアクセントとした重厚感と存在感のある質感を生かして、家では主役となり、また永く使用できるテーブル（ちゃぶ台・ダイニングテーブル等も可）の開発を行います。

### ■具体的な仕様

#### ①天板

素材：地際材を輪切りにした杉の年輪材

年輪材サイズ：直径 300mm から 1,200mm 程度、厚みは 30mm から 60mm 程度の自然面形状



写真（左）：地際材（製材済の年輪材）

写真（右）：地際材（加工済の年輪材）

デザイン上の注意：

- ・年輪材は外周の大きさや形状が1枚ずつ異なります。  
(1本の木でも製材する場所で異なりますので、世界に一つだけの形状です。)
- ・年輪材の円の直径・円周など、近いものでそろえることは可能です。

- ・年輪材を複数枚組み合わせさせたデザインも可能、また年輪を際立たせる加工や塗装の方法まで提案もあると良いです。
- ・一般的なテーブルではなく、年輪材の特徴を生かした考え方で、多様な提案があると良いです。

## ②脚部

材料は木材（杉を使用する予定）もしくは金属も可能です。  
脚の数や形状の指定はありません。

## ③その他

提案いただくテーブルを引き立たせる椅子や小物等までの提案があるとより良いです。

### 【年輪材を用いて弊社が過去に制作した商品】



写真左：杉クローバーテーブル      写真右：杉スツール

## ■ターゲット・販売戦略

ターゲット： 年齢層→シニア・プレシニア（60歳代～80歳代）向け  
顧客層→国内外の富裕層向け  
次の世代まで末永く使用でき、家具やインテリアにオリジナリティを求める方。  
年輪材の素材感や質感、価値を理解していただける方。

販売戦略：自社のオンラインサイトで製品アピール  
家具建材展等の展示会への出展  
→まずは知名度・信頼度をアップさせてから、家具店やネット販売等への販促開拓を行います。

価格帯：30万円程度（サイズ・デザインにより前後します。）

## ■デザインに対する考え方とデザイン事業者への要望

弊社は九州産杉材・桧材をメインとした国産材を扱うメーカーです。  
植林活動で雄々しく存在する森の木々や伐採時に残る地際材（年輪材）を見て、改めて私どもが扱っている木材の素晴らしさ、また年輪の雄大さやロマンを感じました。

年輪は一年に1廻り刻まれます。

重ねてきた年輪は何十年・何百年も前から長い時間風雪に耐え、大自然を生き抜いてきた証拠であり、過去の気候がわかったり、木の年齢や気候変動を知ることができます。

世界で一つだけの形という価値と年輪材を天板としたテーブルから、大自然のロマンや歴史・温もりを感じてほしいと思います。

各1点物で、年輪の数・年輪の一つ一つの巾、年輪の大きさなどに希少価値があり、家の中心的存在、顔となって子から孫へと世代を超えて使用できるテーブルを作っていきたいと考えています。

今回、材料として使用する地際材は他の部位よりも収縮率が高く（樹木の根に近い部分にある特性）、割れ（※②）が発生するため、これまで家具や建具の材料として用途がなく活用されていませんでした。しかし、木材を余すところなく全て活用したいという弊社の思いで地際材の割れを抑える技術を確立させ、家具の材料として使えるようにしました。この技術を使うことにより、木1本根元の部分まで残すところなく全てを製品化でき、SDGsの環境保全の一役も担うことができると考えています。

地際材を使用し、年輪の素材感をそのまま生かした製品を希望します。

重厚感と、存在感のある外観を生かして、家での主役になれるものとして、テーブル・ちゃぶ台・ダイニングテーブル等のテーブルの提案を希望します。加えて、もしくは提案いただくテーブルを引き立たせる椅子や小物等までの提案があればお願いします。

#### ■実施スケジュール（予定）

具体的な詳細スケジュール

8月～9月 デザイナー公募・決定

9月～翌2月 デザイン決定・製作準備

9月～10月 デザイン決定

10月～11月 試作のための機械・材料等の準備

12月～1月 2回目試作及び修正期間

2月 最終的な製品化に向けての制作

3月 最終調整を行い、製品化へ

#### ■プロジェクト参画企業等

企業名 株式会社ウエキ産業 木挽事業部

主な製品 製材・木製品製造販売

- ・オーダー建具、床材、壁材、造作用 CLT パネル等の生産販売
- ・家具メーカーへの挽板の販売

ホームページ URL <http://uekisangyo.com>

#### ■語句説明（必要なら記載）

※① 地際材

樹木でも、地面に近い部分。樹木の根に近い部分で伐採してしまうと収縮率が上がり割れてしまうため、今

まで用途が少なく、使用されていませんでした。弊社はその未使用の部分に着目し、木材を最大限利用し、有効的に活用することはできないかと考えました。有効的に使用することは木材の有効活用そして、環境の循環利用と保全等を通じSDG sにも貢献できると考えます。

### ※② 割れ

本文にも記載した通り、根に近い部分（年輪材）を乾燥する際、収縮率の関係上、割れが入ります。弊社ではその割れを形状保持させる加工技術を確立しました。その加工を行うと、天然色から変化し、色が若干黒っぽくなり、硬度が高くなります。

### ※③ 年輪

一年に1本刻まれるもの。春から夏にかけては成長速度が速いため色が薄く、秋から冬は短期成長が鈍化するため色が濃くなります。そのため差がはっきりしていて、1年1年の成長を読み取ることができます。四季がある国でしか年輪は刻まれません。また線の巾や太さにより気候変動なども読み取ることができます。



写真左：地際材（イメージ写真）



写真右：割れを起している年輪材。